

吉田忠生*：二，三海藻の命名法上の問題点

Tadao YOSHIDA*: Nomenclatural notes on some Japanese marine algae

瀬川宗吉著原色日本海藻図鑑（保育社）の増補を行なう機会を得て、主として学名についての検討を行なった。その間、国際植物命名規約を厳密に適用した場合のいくつかの問題点に気付いた。そのうち図鑑に含められた種類に関するもののみをとり上げて以下に記す。

1. モカサ

瀬川はこの図鑑の準備前からこの種類が *Fosliella* 属に所属すべきものであるとの見解を持っていたが、当時まだこの組合わせが正式に発表されたものでないため、組合わせの著者名をつけずに出版した。その後 MASAKI¹⁾ はこの図鑑で組合わせが行なわれたものとして引用している。しかし国際植物命名規約第33条によれば1953年1月1日以降新組合わせの発表にはその basionym が明瞭に指示されていなければ正当な発表とならないので、図鑑の初版（1956年6月15日発行）ではこれが有効な発表であるとしても正当といえない。そこで以下の様に改めて組合わせを提案する。

Fosliella zostericola (FOSLIE) SEGAWA comb. nov.

Basionym: *Lithophyllum zostericum* FOSLIE, Det K. Norske Vidensk. Selsk. Skr. 1900(3): 5. 1900.

2. ハイキヌゲ

Neomonospora SETCHELL et GARDNER 1937 は、*Monospora* SOLIER in CASTAGNE 1845 が *Monospora* HOCHSTETTER 1841 の later homonym で使えないことから再命名されたものである。しかしこの属に対してはすでに *Corynospora* J. AGARDH 1851 という名前があるので、superfluous ということになる (KYLIN²⁾)。日本産の種についてはまだこの属への組合わせは行なわれていない様であるからここに提案する。

Corynospora sericata (SEGAWA) YOSHIDA comb. nov.

Basionym: *Neomonospora sericata* SEGAWA, Sci. Pap. Inst. Algol. Res., Fac. Sci., Hokkaido Univ. 2: 267. fig. 12. pl. 55, fig. 2. 1941.

3. イボツノマタ（コマタ）

KIM³⁾ は *Chondrus verrucosus* MIKAMI (= *Ch. ocellatus* f. *canaliculatus* OKAMURA) を *Gigartina* に移したが、組合わせ *Gigartina verrucosa* (MIKAMI) KIM は *Gigartina*

* 北海道大学理学部植物学教室（060 札幌市北区北10条西8丁目）
Department of Botany, Faculty of Science, Hokkaido University, Sapporo, 060 Japan.
Bull. Jap. Soc. Phycol., 24: 143-145, Dec. 1976.

verrucosa (KÜTZING) SETCHELL et GARDNER 1934 (= *Mastocarpus verrucosus* KÜTZING) の存在によって illegitimate であるので、新名を提案する。

Gigartina mikamii YOSHIDA nom. nov.

= *Gigartina verrucosa* (MIKAMI) KIM, Nova Hedwigia 27: 39. 1976 (= *Chondrus verrucosus* MIKAMI, Sci. Pap. Inst. Algol. Res., Fac. Sci., Hokkaido Univ. 5: 248. fig. 37, 38. pl. 5. 1965)

non *Gigartina verrucosa* (KÜTZING) SETCHELL et GARDNER, Rev. Algol. 7: 138. 1934.

4. ナガシマモク

Sargassum racemosum の名前は O. KUNTZE が *Carpacanthus racemosus* KÜTZING を basionym とする組合わせとして1880年に発表しているので、山田・瀬木によるこの名前は later homonym であって使用できないと判断される。そこで次の様に新名を留意した。

Sargassum segii YOSHIDA nom. nov.

= *Sargassum racemosum* YAMADA et SEGI, in SEGI, J. Jap. Bot. 22: 97. fig. 1, 2. 1948.

non *Sargassum racemosum* (KÜTZING) O. KUNTZE, Bot. Jahrb. 1: 227. 1880.

5. 宮部によるコンブ類数種の発表日付

北海道産のコンブ類のいくつかの種類は宮部が「昆布採集業第一編 分類」(北海道水産調査報告巻之三, 北海道庁殖民部水産課)においてくわしい和文の記載と図版をつけて発表したのが最初の発表として一般に受け入れられている。そしてその英語訳は宮部の没後時田らによって1957年に印刷された。宮部と岡村は密接な連絡をもちながら研究を進めていたので、宮部のコンブ類の研究の結果を岡村はその発表前に知っていて自著「日本藻類名彙」に宮部の仕事を引用している。この両方の印刷物はいずれも1902年に出版された。奥付によれば宮部の「分類」は1902年3月25日印刷, 3月28日発行となっており, 岡村の「名彙」は2月11日印刷, 2月15日発行となっていて, この方が1カ月以上早く発表されたことになる。「名彙」には図はないとはいえ和文ではあるが検索として簡単に性質の記述があるので, こゝに載せられている名前は命名規約第29, 32, 36条の規定によって正当に合法的に発表されたものであると考えなければならない。この日付の差は学名に大きな影響は及ぼさないが, 著者引用をくわしくする場合には次の様にしなければならなくなる。

ナンブフカメ *Undaria pinnatifida* (HARVEY) SURINGAR var. *distans* MIYABE et OKAMURA in OKAMURA, Nippon Sorui Meii 128. 1902.

リシリコンブ *Laminaria ochotensis* MIYABE in OKAMURA, ibid 128. [*L. japonica* ARESCHOUG var. *ochotensis* (MIYABE in OKAMURA) OKAMURA]

- ヤヤンコンブ *L. fragilis* MIYABE in OKAMURA, ibid 131.
 オニコブ *L. diabolica* MIYABE in OKAMURA, ibid 131.
 ホソメコンブ *L. religiosa* MIYABE in OKAMURA, ibid 131.
 チヂミコンブ *L. cichorioides* MIYABE in OKAMURA, ibid 131.
 ナガコンブ *L. longissima* MIYABE in OKAMURA, ibid 131. [*L. angustata* KJELLMAN
 in KJELLMAN et PETERSEN var. *longissima* (MIYABE in OKAMURA) OKAMURA]
 ゴヘイコンブ *L. yezoensis* MIYABE in OKAMURA, ibid 133.
 トロロコンブ *Kjellmaniella gyrata* (KJELLMAN) MIYABE in OKAMURA, ibid 134.
 ガゴメ *K. crassifolia* MIYABE in OKAMURA, ibid 134.

原稿を校閲して下さった黒木教授，御意見をいただいた三上教授に感謝する。

Summary

Combination of *Fosliella zostericola* (FOSLIE) SEGAWA has not been validly published. Therefore, it is here proposed. New combination, *Corynospora sericata* (SEGAWA) YOSHIDA is proposed. Because *Gigartina verrucosa* (MIKAMI) KIM and *Sargassum racemosum* YAMADA et SEGI are later homonyms, new names, *Gigartina mikamii* and *Sargassum segii*, are proposed respectively. Several species of *Laminaria* described by MIYABE were first published effectively and validly in the work of OKAMURA (Nippon Sorui Meii, 15 February 1902). MIYABE's original work appeared shortly after (28 March 1902).

引用文献

- 1) MASAKI, M. (1968) Studies on the Melobesioideae of Japan. Mem. Fac. Fish. Hokkaido Univ., **16**: 1-80.
- 2) KYLIN, H. (1956) Die Gattungen der Rhodophyceen. CWK Gleerups, Lund: 1-673.
- 3) KIM, D.H. (1976) A study of the development of cystocarps and tetrasporangial sori in Gigartinaceae (Rhodophyta, Gigartinales). Nova Hedwigia, **27**: 1-146.